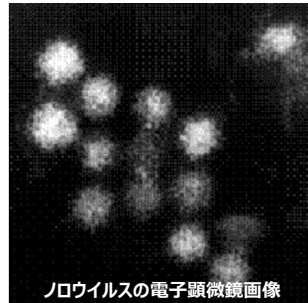


はじめに

ノロウイルスによる胃腸炎をはじめ、ウイルスが原因でおこる感染性胃腸炎は1年を通して発生しますが、特に冬季に流行します。原因となるウイルスはノロウイルスやロタウイルス、アデノウイルスなどです。一般的に冬季前半にはノロウイルスによる胃腸炎が多く、後半から春にかけてはロタウイルスによる胃腸炎が多くなります。ロタウイルスやアデノウイルスは乳幼児に好発しますが、ノロウイルスは成人も含め全年齢にみられます。とくに抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は重症化しやすいので注意が必要です。

ノロウイルスについて

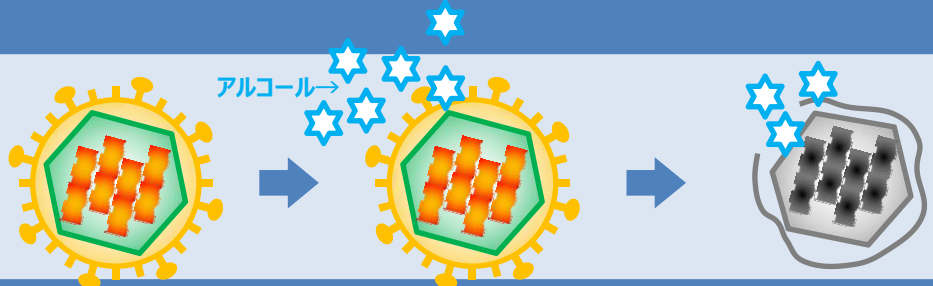
ノロウイルスは人の小腸粘膜で増殖するウイルスです。従来は小型球形ウイルスと呼ばれ、主に11月から3月にかけて胃腸炎を起こします。少量のウイルス(100個以下)でも発症するため、**感染力のとても強いウイルス**で保育園や高齢者施設など集団生活の場では、短時間で感染がひろがり集団発生(クラスター)を引き起こしやすい病原性ウイルスといえます。



また、新型コロナウイルス、インフルエンザウイルスといった、エンベロープ(外殻成分)を持つエンベロープウイルスに対し、ノロウイルスはエンベロープを持たないノンエンベロープウイルスです。このため、ウイルス自身のエンベロープに作用して不活化させるアルコール製剤は無効で、塩素系製剤や加熱処理でないと不活化させることができません。

エンベロープウイルス

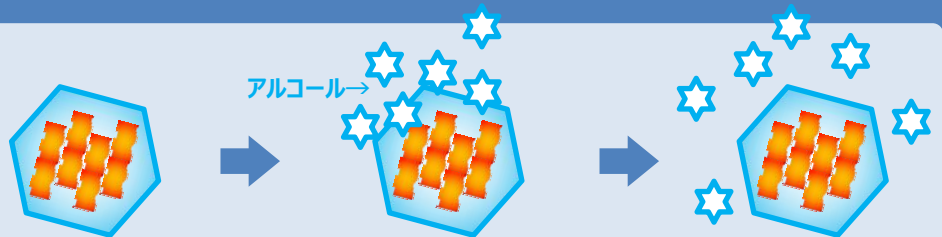
新型コロナウイルス
インフルエンザウイルス
ヘルペスウイルス
風疹ウイルス
B型・C型肝炎ウイルス
エイズウイルス など



Copyright © 2020 ES TECHNOLOGIES CORP., All rights reserved.

ノンエンベロープウイルス

ノロウイルス(食中毒)
コクサッキーウイルス(手足口病)
アデノウイルス(プール熱)
ロタウイルス
ポリオウイルス など



症状・経過

潜伏期は1日から3日です。症状は吐気・おう吐や下痢、腹痛などで発熱は軽度です。特効薬はありませんが多くは1日から2日で改善します。下痢やおう吐が続いた場合は乳幼児や高齢者は脱水症状を起こす場合があるので水分補給につとめ、早めに医療機関を受診してください。

感染経路

- ①人から人への感染：ノロウイルス感染者の吐物・便の中にノロウイルスが含まれています。ウイルスが手などについて口から感染する場合や吐物の飛沫や便の処理過程で感染する場合があります。
- ②人から食品、そして食品から人への感染：食品取扱者の手を介してウイルスが食品につき、それを食べて感染することがあります。
- ③食品から人への感染：生や中心部の加熱が不十分なカキなど、二枚貝を生で食べることによって感染します。

予防措置

ウイルス性のものに対しては流行期の手洗いと患者との濃厚な接触を避けることが感染予防のポイントです。

最も有効な対策は手洗いです。日常的な感染予防策として、流水で15秒手洗いするだけでも手指のウイルスや病原菌の数が約100分の1、またハンドソープや石鹼で1分間しっかり手洗いすると10万分の1に減らせることが報告されています。ただしハンドソープで長時間または頻繁に手洗いすると、皮脂を失い手荒れを発症することもありますし、身近に手洗場と洗剤が無い場合も多々あります。こんなときにこそステリパワーをお使いください。油汚れを落とした手にステリパワーでヒタヒタにし両手指をこすり合わせ自然乾燥させることにより、アルコールによる手荒れもなく、ハンドソープのようにすすぎ洗いの必要もありません。手を拭く場合は共用タオルの使用は避けてペーパータオルなどを使用します。

加熱が必要な食品(特にカキなどの二枚貝類)は中心温度が85℃以上で1分間以上になるようにしっかり加熱します。



発生時の対応①【嘔吐物処理】

嘔吐があった場合、吐物より2倍以上広めに新聞紙などで覆い、乾燥しないようにします。その上からステリパワーの原液(200ppm)を十分に(ピチャピチャになるくらい)かけます。手袋とマスクをした上でビニール袋を2枚用意し、1枚に新聞紙ごと吐物を入れ、残りもティッシュペーパーやペーパータオルなどで周辺部から中心部へ向かって集め、ビニール袋に入れます。目に見える部分が処理できたらその部分に広めに新聞紙などをかけ、ステリパワーを再度かけて約3分ほど放置します。残りをビニール袋に入れたあと、最後に水拭きをします。もう1枚のビニール袋に処理物を全部入れ、使用した手袋やマスク、残ったティッシュなど汚染の可能性のあるものは全部この中へ入れます。最後にステリパワーを袋の中全体が湿る程度に入れます。終了後はステリパワーと石鹼を使って充分に手洗いをします。



発生時の対応②【汚染トイレ・居室処理】

明らかな便や吐物付着に対しては、手袋とマスクをした上で、ステリパワーの原液(200ppm)で拭き取ります。また、目に見えなくても使用後のトイレは取っ手やドアノブなどが汚染されていることが多いので、ステリパワーをスプレーし、乾拭きを行います。また居室内のテーブルや備品類、照明などのスイッチ、TVリモコンなどもステリパワーをスプレーし、乾拭きを行います。終了後はステリパワーと石鹼を使って充分に手洗いをします。



発生時の対応③【衣類の処理】

もし衣類が多量に汚れたら、すぐに脱いでステリパワーの原液(200ppm)を入れたバケツ等に10分漬け込みます。衣類によっては色落ちする場合がありますので、これを避ける場合は水道水で予洗いしてから、4倍に希釈したステリパワー(50ppm)に30分漬け込んでください。そのあと通常の洗濯になります。汚れが少ない場合には、単独で洗濯機で洗濯し、すすぎの段階で4倍に希釈したステリパワー(50ppm)に10分漬け、その後すすぎます。(85℃ 1分以上の熱湯消毒も効果があります。)



発生時の対応④【カーペットの処理】

基本的には衣類の処理と同じですが、色落ちの懸念や、剥がせない、濡らせないなど、ステリパワーが使えない場合は、手袋とマスクを着装し、目に見える汚物を乾かないうちにティッシュなどで拭き取り、すぐにアイロンをあてれば 蒸気の熱で消毒することも可能です。